大阪国際文化芸術プロジェクト

文春歌舞伎特別公演

2024年2月2日[金]初日 ▶ 18日[日]千穐楽 【休演】8日[木]

◆主催 大阪府・大阪市・大阪文化芸術事業実行委員会

大阪 松竹座

大阪国際文化芸術プロジェクト

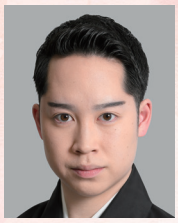
立春歌舞伎特別公演

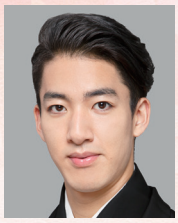
2024年2月2日(金)初日➡18日(日)千穐楽【休演】8日(木)

中村扇雀

中村亀鶴

上村吉弥


中村虎之介


尾上右近

中村壱太郎

片岡愛之助

中村鴈治郎

【昼の部】午前11時開演

源平布引滝　三幕
並木千柳　三好松洛　作

義賢最期

竹生島遊覧

実盛物語

【夜の部】午後4時開演

一、新版色読販　一幕二場
ちょいのせ

二、連獅子　長唄囃子連中
河竹黙阿弥　作

三、曽根崎心中　一幕三場
近松門左衛門歿後三百年
近松門左衛門　作
宇野信夫　脚色・演出
中村鴈治郎　指導
長坂元弘　美術
野澤松之輔　作曲
初代勝見嘉之　振付

『義賢最期』
木曽先生義賢　中村扇雀
実は多田蔵人行綱　中村壱太郎
下部折平　中村鴈治郎
御台葵御前　中村亀鶴
高橋判官長常　中村虎之介
長田太郎末宗　尾上右近
待宵姫　中村壱太郎
腰元　中村壱太郎
腰元　中村壱太郎
進野次郎宗政　中村鴈治郎
百姓九郎助　片岡愛之助
矢走兵内　中村虎之介
九郎助娘小万　中村壱太郎

『竹生島遊覧』
斎藤別当実盛　中村扇雀
小万　中村壱太郎
主馬判官　中村虎之介
飛騨左衛門　中村鴈治郎
塩見忠太　中村壱太郎
平宗盛　中村壱太郎

『実盛物語』
斎藤別当実盛　中村扇雀
小万　中村壱太郎
葵御前　中村虎之介
矢走仁惣太　中村鴈治郎
庄屋太郎右衛門　中村壱太郎
郎党　中村虎之介
郎党　中村鴈治郎
九郎助　中村壱太郎
九郎助女房小よし　中村虎之介
瀬尾十郎兼氏　中村鴈治郎

『ちょいのせ』
油屋番頭善六　中村壱太郎
丁稚久松　中村虎之介
娘お染　中村鴈治郎
女中おとり　中村壱太郎
油屋後家おみね　中村虎之介
松屋源右衛門　中村鴈治郎
山家屋清兵衛　中村壱太郎

『連獅子』
狂言師右近　中村壱太郎
後に親獅子の精　中村虎之介
狂言師左近　中村鴈治郎
後に仔獅子の精　中村壱太郎
法華の僧蓮念　中村虎之介
浄土の僧遍念　中村鴈治郎

『曽根崎心中』
天満屋お初　尾上右近
平野屋徳兵衛　中村壱太郎
茶屋女おさと　中村虎之介
同　おくに　中村鴈治郎
町の衆六兵衛　中村壱太郎
同　甚兵衛　中村虎之介
同　松右衛門　中村鴈治郎
女郎お千代　中村壱太郎
同　お仲　中村虎之介
同　おかつ　中村鴈治郎
下女お玉　中村壱太郎
手代茂兵衛　中村虎之介
天満屋惣兵衛　中村鴈治郎
油屋九平次　中村壱太郎
平野屋久右衛門　中村虎之介

中村扇乃丞

中村鴈成

市川荒五郎

上村折乃助

片岡りき彌

上村吉太朗

片岡愛三朗

片岡千太郎

中村翫政

片岡當吉郎

中村かなめ

片岡千壽

尾上菊三呂

中村鴈乃助

中村寿治郎

片岡松之助

1月7日(日)10:00より電話・Web受付開始

ご観劇料(税込)
一等席:15,000円／二等席:8,000円／三等席:4,000円

大阪 松竹座
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-9-19
お問い合わせは ☎06-6214-2211
歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」https://www.kabuki-bito.jp

ご予約は チケットホン松竹 0570-000-489*
または☎06-6530-0333
(受付時間/午前10時～午後5時)
電話番号のおかけ間違いにご注意ください。
※ナビダイヤルは交換機等の設定によってはかかりません。※チケットホン松竹では当日券はご予約いただけません。

チケットWeb松竹
チケットWeb松竹 検索
24時間予約受付
前売り初日は午前10時から。
※事前登録(無料)が必要です。

●前売券取扱所 / 大阪松竹座・南座・歌舞伎座・新橋演舞場
●窓口販売・切符のお引取りは1月9日(火)より。
●窓口販売用別枠でのお取置きはございません。
●チケットWeb松竹のお問い合わせは☎03-3545-2200(午前10時～午後5時)

チケットぴあ w.pia.jp/t/shochikuza/ Pコード:523-325　イープラス eplus.jp/shochikuza　ローソンチケット l-tike.com/shochikuza Lコード:56202

お願い　お買い上げになりましたチケットは、興行中止をのぞいて、ご変更やお取消はいたしておりません。また、転売目的でのチケットの購入は固くお断りいたしております。

団体のお申し込み・お問い合わせは ☎06-6214-2211 販売営業まで

◆主催　大阪府・大阪市・大阪文化芸術事業実行委員会　◆製作　松竹株式会社　◆制作　株式会社アロープロモーション

本事業に関するお問い合わせ　大阪文化芸術事業運営事務局　☎06-7177-6938(平日10:00～17:00)

【昼の部】開演11時

『源平布引滝』三幕

源氏の白旗をめぐって巻き起こる源平合戦の時代の物語

平家全盛の時代。源氏再興を密かに目指す武将 木曽先生義賢のもとに、百姓九郎助が、娘の小万と孫の太郎吉を連れて訪れます。それは、行方知れずとなっていた小万の夫が義賢に仕えていると知り、暇乞いをするため。しかし、義賢の志が平家方に露見し、軍勢が館を取り囲む中、義賢は、身重の妻葵御前と源氏の白旗を九郎助達に託し、壮絶な最期を遂げるのでした(「義賢最期」)。

義賢から預かった白旗を守る小万は、九郎助たちとはぐれてしまいます。追手を振り切り、白旗と共に琵琶湖に飛び込む小万。折から竹生島に参詣した平家方の御座船が小万を見つけ、助け上げようとしますが、小万が白旗を持っていることがわかると、これを奪い取ろうとします。しかし小万が頑なにこれを拒むので、船上にいた斎藤実盛は突然、小万の腕を切り落とすのでした(「竹生島遊覧」)。

琵琶湖のほとりにある九郎助の家。漁から帰った九郎助と太郎吉は、白旗を掴んだ女の片腕を持ち帰りました。そこへ、葵御前の行方を聞いた斎藤実盛と瀬尾十郎が現れます。何とか言い逃れをしようとした九郎助は、一計を案じ、最前の女の片腕を産着に包み、葵御前が産んだ子だと言い張ります。瀬尾は激怒しますが、それを制止し、言いくるめようとしたのは他ならぬ実盛で…(「実盛物語」)。

『源平布引滝』は並木千柳、三好松洛の合作による全五段の時代物の人形浄瑠璃で、寛延2(1749)年に大坂竹本座で初演されました。「戸板倒し」や「蝙蝠の見得」、「仏倒し」といった、歌舞伎ならではの激しい立廻りが有名な「義賢最期」と、捌き役の典型とされ、武芸と共に知性と情を兼ね備える颯爽とした武将である斎藤実盛を描いた「実盛物語」が上演を重ねていますが、今回は関西で久しぶりの上演となる「竹生島遊覧」を加え、この演目の全体像を丁寧に描き出します。

【夜の部】開演16時

『新版色讀販 ちょいのせ』

上方の風情と可笑しみ溢れる一幕

大坂の質屋 油屋の一人娘お染は丁稚の久松と人目を忍ぶ仲ですが、山家屋清兵衛という許嫁がありました。そんなお染に、身の程もわきまえずに横恋慕する番頭の善六は、悪巧みで油屋を乗っ取ろうと画策しますが、清兵衛にことごとく邪魔をされます。ついには油屋から暇を出され、両親にお染との仲を知られた久松もろとも、奥蔵に閉じ込められます。久松に一目会いたいと忍んできたお染に、山家屋との縁談を勧める久松でしたが…。

〝お染久松〟の悲恋に絡む、悪番頭善六の道化ぶりを描いた滑稽な一幕。「ちょいのせ」とは、清兵衛がお染久松の歌祭文を善六の頭に〝ちょい〟と〝乗せ〟るとこからつけられた俗称で、善六は、憎らしい道化ぶりで可笑しみをみせます。善六、お染、久松が人形の仕草を真似る〝人形振り〟も見どころの一つ。大阪松竹座で23年ぶりの上演です。

『連獅子』

華やかで勇壮な歌舞伎舞踊の代表作

文殊菩薩が住むといわれる清涼山の麓にある石橋で、狂言師の右近と左近が手獅子を持ち、石橋の由来や、親獅子が仔獅子を千尋の谷へ蹴落とし鍛える様子を踊って見せます。やがて二人の僧がやってきて宗論となりますが、一陣の風に怯えて二人は逃げていきます。そこへ親獅子と仔獅子の精が現れ、長い毛を振りながら勇壮な獅子の狂いを見せるのでした。

能の『石橋』をもとにした長唄舞踊です。獅子の親子の厳しくも温かい情愛と、後半の華麗な毛振りが大きな見どころの、歌舞伎舞踊屈指の人気を誇る一幕をお楽しみください。

『曽根崎心中』

殁後三百年を迎える近松門左衛門の代表作

大坂平野屋の手代徳兵衛と天満屋お抱えの遊女お初は、将来を約束する仲でした。ある日、徳兵衛は平野屋の主人、伯父の久右衛門に返さなければならない持参金を、油屋九平次に騙し取られた上、満座の中で辱められます。その夜、天満屋に現れた九平次が徳兵衛を散々にこき下ろすのを聞いたお初は、隠れている徳兵衛に命をかけて身の証を立てる覚悟を問うと、徳兵衛はその決意を合図し、二人はあの世で添い遂げる覚悟を決めるのでした。

元禄時代に大坂で実際に起きた心中事件をもとに近松門左衛門が創作した、遊女お初と徳兵衛の、一途な恋ゆえの葛藤から心中へと向かうさまを描いた名作です。